

社教連会報

発行 一般社団法人 全国社会教育委員連合

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6
日本弘道会ビル7階 TEL 03-6380-8540

これからの人づくり・まちづくり 社会教育の役割

文部科学省大臣官房審議官(生涯学習政策局担当)

神山 修

昨年8月に東北大学大学院法学研究科より、現職に着任いたしました。前職では、公共政策の大学院において、政策の企画立案における専門人材の育成に取り組んでまいりましたが、もともとは長く農政に携わってまいりましたので、教育行政は初めて触れる分野ということになります。

昨年10月、第58回全国社会教育研究大会千葉大会に出席させていただきました。1,300名を超える多くの社会教育関係者が参加され、「学び合い、

支え合い、高め合う 社会教育の創造」を研究主題に、社会に役立つ人づくり、地域コミュニティの再生、学校・家庭・地域の教育力の向上、これからの社会教育委員の役割等について、大変熱心な議論が行われましたことは、誠に意義深く、私も社会教育を肌で感じる良い機会となりました。大会運営を支えられたスタッフの皆様のご苦労に敬意を表しますとともに、様々な御示唆をいただきました各位に改めて感謝申し上げます。



神山 修
(かみやま おさむ)

プロフィール

茨城県出身
農林水産省入省後、大臣官房総務課調査官、茨城県農林水産部長、林野庁林政部長、国土政策局長、国土政策局国土情報課長、大臣官房統計部管理課長などを歴任。東北大学大学院法学研究科教授を経て、平成28年8月から現職。

急速に進展する少子高齢化は、農政の現場でもそうですが、次の世代をどう育てるか、という大きな課題を私たちに突きつけています。また、私たち自身も、高齢者になったからリタイアするのではなく、一人一人が学び続け、豊かな人生を送るとともに、持続可能な社会を創るためにどう貢献していくのか、ということを中心に考え、行動していかなければならない時代になってきているものと思います。

現在、政府では、誰もが活躍し、いきがいを感じられる社会である「一億総活躍社会」の実現に取り組んでおり、昨年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」では、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、助け合いながら暮らすことのできる仕組みを構築することとしています。

このような中、社会教育には、地域の人づくり・まちづくりのための「学び」を支え、地域の力を引き出す重要な役割を果たしていくことが求められているものと思います。

社会教育委員の皆様には、これからの人づくり・地域づくりのリーダーとして、ますます御活躍いただきますことを期待しております。

第58回全国社会教育研究大会(千葉大会)を終えて

全国各地から社会教育委員、社会教育関係者など1,300名を超える多くの方々をお迎えし、第58回全国社会教育研究大会千葉大会を10月26日から3日間千葉市を会場に開催しました。

本大会スローガンは「千葉で語り合おうー未来を築く 人づくり・まちづくり」研究主題は「学び合い、支え合い、高め合う 社会教育の創造」と定めました。大会は、基調講演、シンポジウム、分科会と一つの流れの中で円滑な運営ができ無事終了できました。大会冒頭のアトラクションは、全日本吹奏楽コンクール高等学校の部で、今年度も金賞に輝いた柏市立柏高等学校吹奏楽部の演奏でした。素晴らしい演奏に感動の拍手が続きました。部員260名の大所帯で「美しい音楽は美しい環境から」の信念のもと、緑化・美化活動にも取り組んでいるそうです。

基調講演は、株式会社オリエンタルランド執行役員人事本部長であります金木有一氏に「社会に役立つ人づ

くり」と題して、人材育成を実践して考えたことやエピソードなどを交えて、現代社会で求められる能力や心構えなど丁寧に話していただきました。社会教育を通じたまちづくりや人づくりに取り組む私たちと共通点があり多くのことを学びました。

シンポジウムは、「地域コミュニティ再生に向けて〜人づくり・まちづくりをどのようにしていくか〜」をテーマに放課後NPOアフタースクール代表理事の平岩国泰氏をはじめ3名のシンポジストによる討議が展開されました。コーディネーターである、千葉敬愛短期大学学長・千葉大学名誉教授の明石要一氏による進行で、前半はシンポジストそれぞれの主な活動、後半は地域コミュニティ再生に向けて大いに語り合いました。地域の方が数多くかかわり、地域みんなで協力して子どもを育てる具体的な機会を数多く作り出すことが地域コミュニティ再生の一助となることなど、地域づくりにはどうあるべきか社会教育の可能性を考える機会になりました。

分科会は、「学校教育支援の推進」「家庭教育支援の充実」「地域の教育力の向上」「社会教育委員の役割」「災害に強い地域づくり」の5つのテーマに分かれ、日々の実践を語り合いました。千葉大会で設定した『語り合う場』

とは、参加者一人一人が日ごろの活動や思いを語り合いながら親しくつながり、語り合う中からでも、助言者の話の中からでも、何かを学びとり、心に刻むものを持ち帰る場です。そのため、参加された全ての方が一言でも語ってほしいとの願いから、語り合の時間を十分に確保しました。1グループを語りやすい人数の6人とし、本大会のスローガンを具現化する分科会をめざしました。

各分科会会場の真剣さの中に明るさのある雰囲気がとても印象に残りました。分科会の一連の流れの中で書かれたアンケート調査(回答557名)(詳細は、報告書・アンケートまとめ参照)から、9割程度の方から満足のものであったと言う評価を得ました。また、大会2日間の感想や



意見では8割の方が満足の評価でした。

最後に、千葉大会を開催するに当たり、ご尽力いただいた全国社会教育委員連合をはじめ、各都道府県の社会教育委員連絡協議会、各市町村の社会教育委員、協賛いただいた企業・団体等関係の方々、心よりお礼を申し上げます。そして、第59回北海道大会が素晴らしい大会になりますことを祈念しております。

第58回全国社会教育研究大会千葉大会

実行委員会委員長 中山 清志

第59回全国社会教育研究大会北海道大会 第37回北海道市町村社会教育委員長等研修会 ご案内

北の国から地域を拓く ～腹いっぱいしゃべり合おう～

今日、我が国は、少子高齢化に伴う子育て支援や高齢者福祉の充実、また、高度化、スピード化する経済や科学技術の進展に伴う就労・生産体制の変化への対応、更には、防災をはじめとする安心・安全な暮らしの確立など、様々な課題に直面しています。そうした中で、社会教育の基盤であるコミュニティの形成にも少なからず変化が生じてきています。

言うまでもなく社会教育に携わる者の役割は、自分たちが住むまちが快適で安全な、しかも元気な地域社会であることを目指すために、それを支える人づくりに尽力することです。そのため、住民自らが当事者意識を持って地域課題やニーズを共有するとともに、その解決に向け、優しい人間関係を基盤とした地域ぐるみの取組が大切になってきています。

本大会は、全国の社会教育委員をはじめとする社会教育関係者が、一堂に会する絶好の機会です。分科会では参加者一人一人が市町村の規模や仕組みの違い、経験の深浅を越えて聞き合い、語り合う場を設けて、今後の社会教育の創造につながる大会にしていきたいと考えています。

北海道は食文化の地でもあります。大会当日は、街では北海道各地の収穫を食することができるフェスティバルも開催されております。たくさんの方々のお越しをお待ちしています。

北海道社会教育委員連絡協議会会長

平成29年度全国社会教育研究大会北海道大会実行委員会委員長 大島 峰夫

◇大会の概要

1. 期 日 平成29年9月11日(月)～13日(水)
2. 会 場 札幌コンベンションセンター(札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)
3. 大会日程

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第1日 9月11日 (月)							全国社教連理事会 15:00～16:30		
							※全国事務局会議 17:00～		
第2日 9月12日 (火)	全国社教連総会 10:00～11:30		アトラク ション 12:15～ 12:45		開会行事 (表彰式) 12:50～ 13:40	記念講演 13:50～ 15:00	パネル ディスカッション 15:10～ 16:40	閉 会 行 事	
	受付 10:30～12:15								
第3日 9月13日 (水)	受付	分科会(分科会毎に解散) 9:30～12:00							

4. 分科会

分科会名	テーマ	内容
第1分科会	社会教育委員会議の在り方と 社会教育委員のかかわり	・地域事業への参画と提言 ・研修の方法 ・行政との協働等
第2分科会	地域を担う人材育成の在り方と 社会教育委員のかかわり	・人とのつながり ・シニアの社会参加 ・若者、女性の参画 ・ネットワーク等
第3分科会	子育て・家庭教育支援の在り方と 社会教育委員のかかわり	・地域ぐるみの子育て支援 ・家庭の教育力の向上等
第4分科会	青少年教育の在り方と 社会教育委員のかかわり	・体験活動 ・地域ぐるみの健全育成 ・地域ぐるみの学校支援等
第5分科会	社会教育施設の在り方と 社会教育委員のかかわり	・公民館 ・図書館 ・博物館 ・文化、スポーツ、野外体験施設等
第6分科会	地域起こしの在り方と 社会教育委員のかかわり	・高齢化対応 ・人口減少対策 ・地域行事 ・イベント ・防災の取組等

- ・分科会は、6人程度の小グループを編成して、参加型フリートーキングで行います。
- ・特設の実践事例発表はありません。参加者一人一人が主役です。
- ・パンフ、チラシ、新聞記事コピー等の参考資料を持参する場合は、10部ご用意ください。

5. 大会参加費 5,000円/人

※内容は変更になることもありますので最新情報をホームページによりご確認ください。

平成28年度
地区別社会教育
研究大会

北海道地区

社会教育活動における地方創生

～人と人との絆を大切に！～

地域全体で取り組む体制づくりを！
第56回北海道社会教育研究大会（上川大会）は、10月13日、14日に富良野市で450名の参加を得て開催されました。

初日は開会式・表彰式の後、文部科学省社会教育課長補佐の佐藤秀雄氏に「地方創生と社会教育委員の役割」のテーマで講演をいただきました。午後は地域づくりなど6分科会で提言と討議の視点に基づき、小グループによる活発な意見交流及び協議が行われました。

2日目午前のパネルディスカッションでは、3名のパネリストが「地方創生と地域の元気づくり」について貴重な実践発表や討議が行われました。

午後からの記念講演で、平田オリザ氏は「五十年、百年先、文化的要素や教養を身につけている市民が社会の形成者となっているためには、今の社会教育に果たさなければなら



ない大きな責任がある」と講演されました。

全日程を通し、活力ある地域社会の実現に向け、社会教育の持つ使命と社会教育委員としてなすべきことを学びそして考えることができた有意義な大会となりました。

北海道社会教育委員連絡協議会
会長 大島 峰夫

東北地区

未来を拓く、ふくしま発

地域が人を育み、人が地域をつくる
～自立・協働・創造に向けた

生涯学習社会の実現

第38回全国公民館研究集会・平成28年度東北地区社会教育研究大会・

第65回東北地区公民館大会が10月20日（木）、21日（金）に福島市とうほうみんなの文化センターにおいて開催されました。

一日目は、合唱王国福島の代表として県立橘高等学校合唱団の素晴らしい歌声が披露されました。

続いて「ふくしまから始まる新しい学び」と題し、一般財団法人ふくしま学びのネットワーク理事・事務局長の前川直哉氏より記念講演をいただき、学ぶことの新たな視点を示していただくとともに、教育のすばらしさを再確認しました。

二日目は、五つの分科会に分かれ、活発な協議や意見交換が行われました。多くの関係者の方々にご協力いただき実り多き大会となりました。



とに御礼申し上げます。参加された皆様が、本大会を通じて学んだことを、各地域で実践されることを心より願っております。

福島県市町村社会教育委員連絡協議会
会長 中島 功

東海北陸地区

今、私たちにできること これからの社会教育をめざして
～元氣あふれる 豊かなふるさとのために～

10月13日、14日の両日、福井県敦賀市において第47回東海北陸社会教育研究大会（福井大会）が500名を超える参加者を得て、盛大に開催されました。

初日はアトラクション、開会行事、記念講演が行われました。アトラクションでは、開催市である敦賀市の敦賀消防団消防隊（つるが鳶）による高さ6メートルのはしごの上での勇壮な技が披露されました。

記念講演では「実践的幸福論～だれもが幸せになるための確かな方法～」と題して、「プロフェッショナル仕事の流儀（NHK2009）」にも出演された名田庄診療所所長の中村伸一氏に、講演をいただきました。2日目は5つの分科会に分かれ、各県からの話題提供に基づき、活発



な協議や意見交換が行われました。参加された東海北陸各県の皆様、今大会で学ばれたことをもとに、各地区でさらなるご活躍をされることを願っております。

東海北陸社会教育委員協議会連合会
会長 徳本 達之

近畿地区

人と地域がつながる社会教育の役割
平成28年度近畿地区社会教育研究大会（滋賀大会）は、9月9日に大津市民会館を主会場に、963名の参加を得て盛大に開催されました。午前中の開会行事に続いて、「権



座・水郷を守り育てる会」事務局長の大西實氏が「水郷を活かした農の里づくり」と題して、湖国の原風景を次世代に残すまちづくり活動について、熱く語り語っていただきました。午後からは、5分科会で（社会教育委員の役割、家庭教育支援、地域づくり、人権教育、青少年教育）各府県から実践発表があり、活発な意見交換や討議の柱に基づいた協議が行われ、課題を有する今日的な社会教育の在り方について、多くの示唆を得ました。

近畿各府県社会教育委員や社会教育関係者が集まり、社会教育の現

状と課題について議論し、学習したことを持ち帰り実践していくことは大変重要なことであり、今年度も参加者が、研究大会の重要性と必要性を確認して大会を終えることができました。参加した皆様が、本大会で学ばれたことを地域社会の社会教育活性化のため実践されることを期待するものです。

滋賀県社会教育委員連絡協議会
会長 小林 忠伸

中国・四国地区
社会のおもてなし 結願をめざして
学校・家庭・地域が織りなす曼荼羅
第39回中国・四国地区社会教育研究大会（香川大会）は、11月17日、18日の両日、香川県高松市のレクザムホールを主会場に、555名の参加を得て開催されました。

1日目は、アトラクション（国分寺太鼓）、開会行事の後、コラムニストの明石安哲氏に「讃岐うどんクロナクル」これが香川の底チカラ」と題し、うどん県、アート県と名乗るきっかけとなった逸話等を取り上げ、香川県民の特性を考察していただきました。

その後のパネルディスカッション



では、教育委員、NPO法人事務局長、社会教育委員と様々な立場の方から、「住民総活躍」の現実（幻想）と不均衡な「地域のチカラ」等、示唆に富む事例の提供や意見発表が行われました。

2日目は、2会場に分かれて4分科会を実施しました。事例提供の後、助言者から討議の柱を提案いただき、参加者同士での熱く、活発な意見交流がなされました。

参加された皆様、今大会で学ばれたことを、各地域で実践していただくことを心から願っています。

中国・四国地区社会教育委員連絡協議会
会長 時岡 晴美

九州地区

人・地域を動かす社会教育

〜学びから育みへ 地域の力を高めよう〜

第46回九州ブロック社会教育研究大会は、標題の研究テーマのもと、11月10日・11日、福岡県福岡市において、943名の参加を得て盛大に開催されました。

1日目の分科会では、「青少年教育」、「家庭教育」、「地域づくり」、「社会教育施設・関係団体」の四つのテーマに分かれ、九州各県・各地から2本の実践事例を紹介いただき、その

後、それぞれの討議の柱に沿った活発かつ熱心な研究協議が行われました。

2日目の全体会では、「社会教育における『学び』はどう活かされているのか」というテーマで記念鼎談を行いました。登壇者は、文教大学の野島正也学長、徳島県社会教育委員会委員の馬場祐次朗委員長、福岡県社会教育委員の会議の大島まな議長で、それぞれの立場から社会教育における「学び」について国の動向や事例等から提起され、今後の社会教育の役割について多くの御示唆をいただきました。

2日間を通じ、今後の社会教育の更なる活性化、方向性等について大いに議論を深める大会となりました。

福岡県社会教育委員連絡協議会

会長 重松 孝士



北から南から

共に学び 絆を強める活動の推進を

愛知県社会教育委員連絡協議会 会長 山本 修二



膝を交えて話し合う時間をもつ事ができました。その地域によって、その地域ならではの様々な問題がある事を実感しました。

愛知県社会教育委員連絡協議会では、今年度7、8月に県内の社会教育委員にアンケートを実施し、各委員が地域課題の解決に真摯に向き合う多くの事例を集約しました。その内容を役員会の折に共有するとともに、次会に向けて、特に顕著な事例を深める形で紹介し合えるよう、各支部に報告をお願いしています。地域課題の解決に向けた取組を、本会として広く情報共有する事が、社会教育委員としての今後の職務遂行の一助になると考えています。

私のふるさと新城市では、平成27年12月の中教審答申にも沿う形で、「共育(ともいっく)」活動を推進しています。

新城市は愛知県の中山間地域であり、少子高齢化が顕著な所です。農山村地域の人口減少に伴い学校の統合、廃校が進んでいます。青少年の育成には地域全体で取り組んでいます。学校・家庭・地域が連携して

実践する「新城共育12」を定め、「時を守り、早ね、早おき、朝ごはん」辛くとも、夢にチャレンジ、あき

昨今の社会情勢は、少子高齢化、地域社会の支え合いの希薄化、核家族の増加や子育て家庭の孤立化などが進み、様々な課題を抱えています。社会教育委員はこうした課題を克服するために人づくり、地域づくりに向けて具体的に行動をしなければなりません。

こうした状況の中で、11月に千葉県で全国社会教育研究大会が開催され、全国の社会教育委員が集まり、

「らめません」等啓発ポスターを作成し、全市を挙げて取り組んでいます。子どもたちがより学習を身近に感じ、心に残るものとするためには、地域の人々との交流は欠かせません。全小中学校で「共育の日」を月一回設け、学校を利用して地域の大人たちと子どもたちが共に学び、活動する場としています。

社会教育委員のチャンス到来

山口県社会教育委員連絡協議会

会長 江原 健二



子どもを取り巻く社会環境は、人口減少や少子高齢化、核家族化、地域住民のつながりの希薄化、高度情報化、いじめ、児童虐待等により、身近な学校・家庭・地域で大きく変化しており、様々な課題が指摘されています。

このような中、地域主権が唱えられ、「新しい公共」の考えが広まり、地方創生の時代を迎えるとともに、東日本大震災以降、地域の絆が見直され、地域のつながりを生かした様々な学習を通じて、人づくり・地域づくりをめざす社会教育への期待が高まっています。

山口県でも、国の「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方」についての答申に呼応しながら、平成27年に策定された県政運営の指針である「元氣創出やまぐちー未来開拓チャレンジプラン」のもと、安心して生活できる元氣な地域社会の形成に向けた諸施策が積極的に展開されています。

とりわけ、本県の将来を支える人材の育成を担う教育の分野では、「地域教育力日本一の実現」に向けて、平成28年4月に市町立小・中学校での設置率が100%となったコミュニティ・スクールが核となり、本県独自の取組である「地域協育ネット」の仕組みを生かして、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する「やまぐち型地域連携教育」が重点的に推進されています。

このような学校・家庭・地域の連

携・協働による取組を、さらに充実・発展させていくために、地域社会における教育ネットワークの要である社会教育委員が、今こそ地域の中核リーダーとして、それぞれの地域の施策に対し、実情を踏まえた上で、様々な形で関わりを持ち、活躍できるチャンスが到来したと言えるでしょう。

社会教育の充実のため、社会教育委員一人ひとりがアンテナを高く掲げ、自己の役割について見つめ直し、身近なところから人と人との絆を大切にし、人づくり・地域づくりの推進と、地域課題の解決に向けて、自己研鑽を深め、具体的に行動することが重要と考えます。



好評
発売中

社会教育委員 必読の一冊

*法改正に対応しています

—改訂版—

社会教育委員のためのQ&A



A5判 定価1,296円(税込)
企画・編集/
(一社)全国社会教育委員連合
発行/(株)美巧社

主な内容

社会教育とは、社会教育と生涯学習
社会教育委員委嘱の範囲
諮問に応じるとは
教育委員会への助言とは
必要な研究調査とは
社会教育委員制度の活性化

社会教育と社会教育行政
实际生活に即するとは
環境を醸成するとは
社会教育を行う者とは
社会教育の振興と地方公共団体の任務
公の支配に属しないとは
教育委員会と社会教育関係団体の関係

「社教連」だより

平成28年度

第3回理事会・総会について

平成28年度第3回理事会・総会は、3月1日(水)に日本弘道会ビル8階講堂にて開催する予定です。

議題は①平成29年度事業計画(案)・収支予算(案)②第59回全国大会(北海道大会)③第60回全国大会(青森大会)④第61回全国大会(兵庫大会)⑤役員選考委員会⑥その他を予定しております。

平成29年度

第1回理事会・総会について

平成29年度第1回理事会・総会を、5月18日(木)に日本弘道会ビル8階講堂にて開催する予定です。

議題は①平成28年度事業報告・決算報告②第59回全国大会(北海道大会)③第60回全国大会(青森大会)④第61回全国大会(兵庫大会)⑤役員(理事・監事)の改選⑥その他を予定しております。

ご多用とは存じますが、ご予定くださいますようお願いいたします。

なお、平成27・28年度の理事の任期は、平成29年5月の総会までとなっておりますので、ご注意ください。

平成29年度社会教育研究大会一覧(予定)

全国大会	(北海道大会)	9月11日(月)~13日(水)	北海道札幌市
北海道地区	→ 全国大会と合同開催(北海道)		
東北地区	(宮城大会)	10月30日(月)~31日(火)	宮城県(仙台市)
関東甲信越静地区	(静岡大会)	11月16日(木)~17日(金)	静岡県(沼津市)
東海北陸地区	(富山大会)	10月12日(木)~13日(金)	富山県(富山市)
近畿地区	(京都大会)	9月7日(木)	京都府(京都市)
中国四国地区	(鳥取大会)	10月26日(木)~27日(金)	鳥取県(米子市)
九州地区	(宮崎大会)	11月9日(木)~10日(金)	宮崎県(宮崎市)
指定都市		7月7日(金)	熊本県(熊本市)

社教情報



社教情報 No.76

社会教育の明日を拓く 地域創生は社会教育

- 〈巻頭言〉 目的は社会教育、手段は地域創生 清國 祐二
- 〈実践で語る戦後の社会教育史〉 渡邊 正俊氏(宮城県) 取材 上條 秀元
- 〈答申・提言〉 市町村における社会教育委員制度の活用の課題と在り方について 解説 梶野 光信
- 〈社会教育委員Q&A〉 社会教育関係団体 解説 神部 純一
- 〈解説〉 グローバル社会 解説 山崎 清男
- 〈社会教育委員の活動〉 石川県珠洲市、京都府京丹波町、福岡県筑紫野市
- 〈社会教育委員リレートーク〉 高知県 → 愛媛県

編集・発行 (一社) 全国社会教育委員連合 TEL 03(6380)8540 FAX 03(6380)8541

生涯学習支援実践講座

文部科学省認定・通信教育

生涯学習コーディネーターを養成

「生涯学習コーディネーター資格」が取得できます

いま、生涯学習領域で最も必要とされている生涯学習コーディネーター。生涯学習コーディネーター養成のための本格的研修講座。コーディネートの知識・技術が4か月間の通信教育で習得できます。

一般財団法人 社会通信教育協会

「生涯学習コーディネーター研修」事務局 〒114-0015 東京都北区中里1-15-8 TEL.03-5815-8432 FAX.03-5815-8433

講座内容

- 第I単元(テキストI) コーディネートの理解と技術
- 第II単元(テキストII) 地域学習情報の活用の理解と技術
- 第III単元(テキストIII) コミュニケーションの仕方の理解
- 第IV単元(テキストIV) 事業の設計とマネジメントにおけるコーディネーター

案内書 無料進呈! 詳しい案内書をご希望の方は、ハガキ・電話・FAX・メールでご請求ください。